

## 研修会報告

令和4年2月26日

文責：遺伝子・染色体部門長 真山 晃史

研修会テーマ：「悪性リンパ腫の診断とゲノム異常」

開催日時：令和4年2月23日（水） 14：00～16：00

会場：Zoom

司会：東北大学病院診療技術部検査部門 真山 晃史

生涯教育点数：専門20点

参加者：会員参加者62名 非会員1名（医師）

講演1 血液検査における悪性リンパ腫の視かたとポイント

東北大学病院診療技術部検査部門 主任 菅原 新吾 技師

講演2 悪性リンパ腫の診断・治療とゲノム異常

東北大学病院血液内科 講師 福原 規子 先生

16:00 終了

### 内容

今回の研修会では、普段企画される機会の少ない「悪性リンパ腫の診断とゲノム異常」をテーマにして開催した。講演1では東北大学病院診療技術部検査部門の菅原技師に講演をお願いし、主に血液検査における悪性リンパ腫の形態学に関して講演して頂いた。血液形態学を行う上で必要なロジカルな考え方や悪性リンパ腫の形態学的特徴、さらにはフローサイトメトリーの原理や応用まで盛り沢山の内容であり、新人から指導的立場の様々な会員にとって教育や学習の仕方、学術的な内容を学ぶことができた良い機会となったと思われる。講演2では東北大学病院血液内科の福原先生に悪性リンパ腫の診断と治療、ゲノム異常について講演して頂いた。リンパ球の分化から悪性リンパ腫の実際の診断、新規治療薬について講演して頂き、普段治療について学ぶ機会が少ない技師にとって非常に有意義な講演であったと思う。また、末梢血や骨髄血を用いた悪性リンパ腫の遺伝子検査の可能性の他、**cell-free DNA**を用いた遺伝子検査の展望についても紹介していただき、悪性リンパ腫の領域でも今後は遺伝子検査が重要な役割を担っていくことがわかった。

今回の研修会はZoomを用いたWeb研修会であり、参加条件を宮城県だけでなく全国に広げて開催した。当日は半数近くが県外の会員であり、本研修会のような内容を望む技師が全国各地に居ることがわかった一方、宮城県の会員参加率が想定以上に少なく、また事前参加申請は行ったが当日参加しなかった会員も宮城県が多かったことから、宮城県の会員参

加率を引き上げることが今後の課題であると感じた。宮城県臨床検査技師会の会員が参加したいと思えるような研修会を開催し、勉強する場を提供していきたい。